

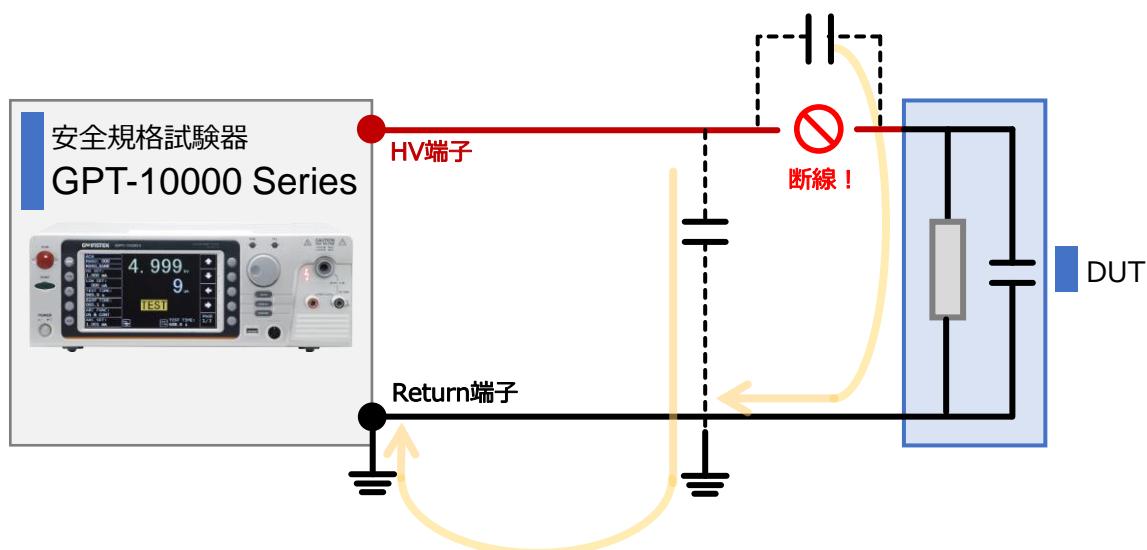
断線を見逃さないコンタクトチェック機能

安全規格試験は、絶縁部分に高電圧を印加しわずかな漏れ電流を検出し判定を行います。が、“短絡”と違って、“断線”は同じような「高い抵抗値」と考えられることから、間違えてPASSさせてしまう可能性があり、経路の接続確認（コンタクトチェック）は非常に重要です。

point

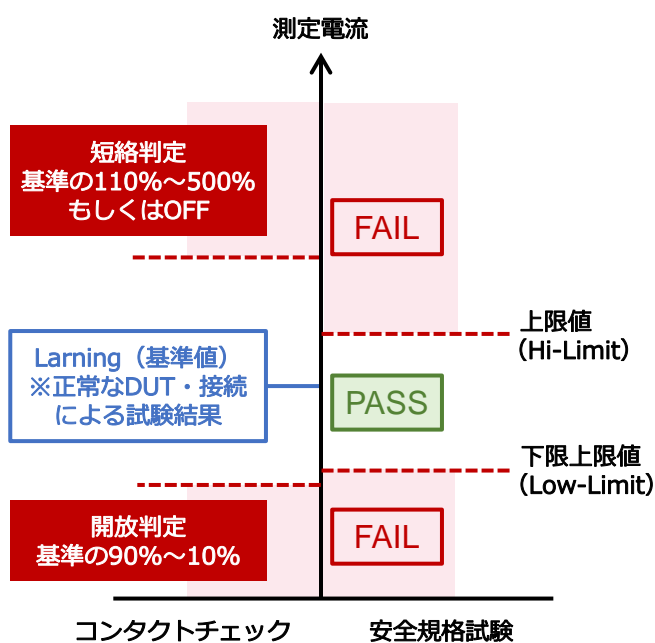
- ・ GPT-10000シリーズには、試験条件から断線を確認できるコンタクトチェック機能を搭載
- ・ 通常の下限值とは別に、標準品の測定結果からコンタクトチェック用のしきい値を設定可能

接続イメージ

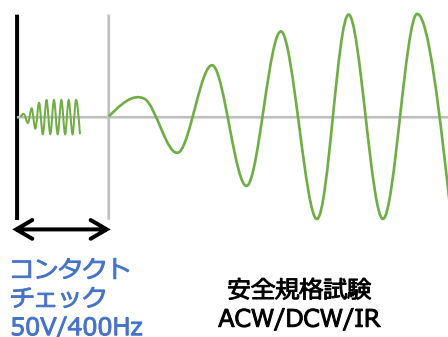


断線していても、寄生容量に電流は流れてしまい、「0 μ A」にはなりません。

判定基準設定



テストイメージ



断線は気付かないと不良品をPASSしてしまう可能性があるため、この機能はとても便利！

※基準値が30 μ A以下の製品についてはコンタクトチェック機能は使用できません。